

品名： **メーターバイザー**

品番： 51800-2581\*

適合機種： GSX800 M3-

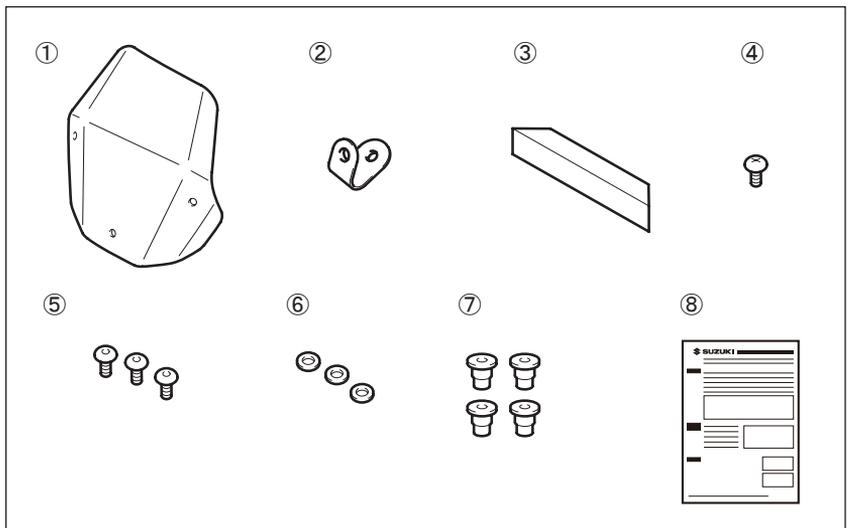
取付時間： 1.5 H

スズキ純正用品をお買いあげいただきありがとうございます。

本書は用品の取付け方法及び取扱の方法を説明しています。取付けの前に必ずお読みいただき、正しく取り付けてください。取付後、本書を必ずお客様にお渡ししてください。

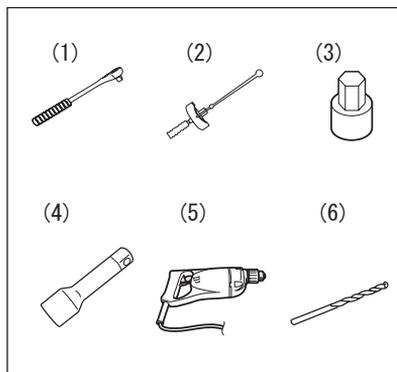
## 構成部品

No	品名	数量
①	メーターバイザー	1
②	メーターバイザーブラケット	3
③	クッション	1
④	スクリュー (M5x16)	1
⑤	スクリュー (M5x20)	3
⑥	ワッシャ	3
⑦	ナット	4
⑧	取付け / 取扱説明書 (本書)	1



**必要工具**

No	必要工具
(1)	ラチェットハンドル
(2)	トルクレンチ
(3)	ヘキサゴンソケット (3, 4 mm)
(4)	エクステンション
(5)	電動ドリル
(6)	ドリル (φ9.5)



**注意書き  
について**

本書の中で使用されている記号 **⚠** 警告、**⚠** 注意、**ℹ** 注記、**👉** アドバイス については、とくにしっかりお読みください。

**⚠ 警告**

取扱いを誤った場合、死亡または重大な傷害を生じる可能性がある危害の程度を示しています。

**⚠ 注意**

取扱いを誤った場合、傷害を負う可能性がある危害の程度を示しています。

**ℹ 注記**

取扱いを誤った場合、物的損害の発生する危害の程度を示しています。⇒ **ℹ**

**👉 アドバイス**

お車のために守っていただきたいこと、知っておくと便利なことを示しています。⇒ **ℹ**

**取り付けに  
際しての  
注意事項**
**⚠ 警告**

- ・ お客様ご自身で取付ける場合は、ご自身の知識・技量の範囲で行ってください。難しいことはスズキ販売店にご相談ください。
- ・ 平坦な足場のしっかりした場所で、サイドスタンドを立ててください。
- ・ エンジン回転中および停止後しばらくの間は、マフラ、エンジンなどが熱くなっています。このとき触れるとやけどを負うおそれがあります。
- ・ 取付けを行うときは火気を近づけないでください。

**ℹ**

- ・ 取付けはエンジンを停止し、キーを抜いた状態で行ってください。
- ・ バッテリ⊖端子をバッテリーから外してください。
- ・ 適切な工具を使用してください。
- ・ 本書に記載の取付位置以外の場所、または取付方法以外の方法で取付けた場合は、取付作業者の責任となります。
- ・ 適用機種以外には使用しないでください。適用機種以外に取付けられたものについては取付作業者の責任となります。

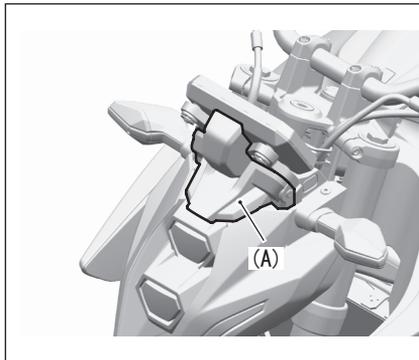


車両部品の脱着はGSX800のサービスマニュアルを必ず参照し、正しく行って下さい。

### 取付方法

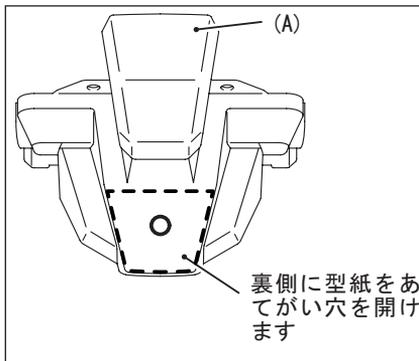
1. フロントメーターカバー (A) を取り外します。

P.7の型紙をフロントメーターカバー (A) の裏側にあてがい、穴あけ位置に印を付け、電動ドリルでφ9.5の穴を開けます。

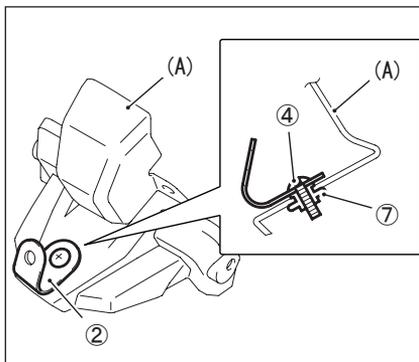


2. 穴を開けた箇所にナット⑦を差し込み、メーターバイザーブラケット②をスクリュ (M5x16) ④で取り付けます。

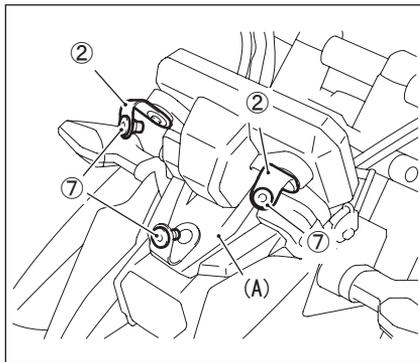
スクリュ (M5x16) ④ :  
1.0 N·m (0.1 kgf·m)



メーターバイザーブラケットの向きに注意してください。穴が小さい方 (φ6.5) をフロントメーターカバーに取り付けます。



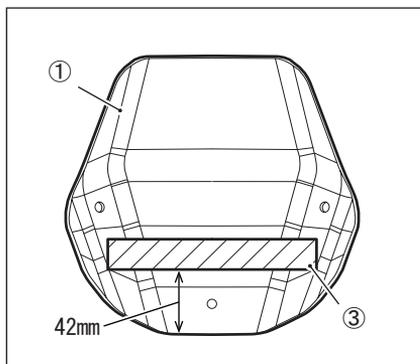
3. フロントメーターカバー (A) を車両に戻します。  
 スピードメータ上部取り付け部のボルトを使ってメーターバイザーブラケット②を取り付けます。  
 メーターバイザーブラケット②にナット⑦をはめ込みます。



メーターバイザーブラケットの向きに注意してください。  
 穴が小さい方 (φ6.5) をフロントメーターカバーに取り付けます。

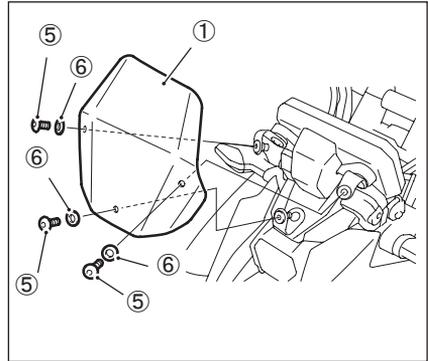
-  スピードメータボルト：  
 4.5 N·m (0.45 kgf-m)

4. メーターバイザー①の裏側にクッション③を貼付けます。



5. スクリュ (M5x20) ⑤、ワッシャ⑥でメーターバイザー①を取り付けます。

 スクリュ (M5x20) ⑤ :  
1.0 N·m (0.1 kgf-m)



**取扱い上の  
注意事項**



- 洗浄する際は、水でメーターバイザーをすすいで、チリや砂や泥を流し落としてください。中性洗剤ときれいなウエスか柔らかいセーム皮にて洗浄し、多量の水ですすいでください。洗剤は十分にすすぎ、水気は柔らかい布を軽く押し当てるようにして取ってください。
- シンナー等、有機溶剤は使用しないでください。製品表面を侵す恐れがあります。

